

ストックオプション 権利行使で後悔しないための Q&A



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年12月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

ストックオプション 権利行使で後悔しないためのQ&A

Q1. スtockオプションとはどのような権利ですか？

自社の株式を「あらかじめ定められた期間」および「決められた価格」で購入できる権利です。役員や従業員に付与され、会社の業績向上に貢献することで自己の利益にもつながる仕組みです。

Q2. 株価が下がった場合に損をするリスクはありますか？

株式とは異なり、株価変動のリスクは負いません。一般的な株式は購入後に株価が下がると損失を抱えますが、ストック・オプションは権利であり、行使するまではお金を払う必要がないためです。

- ・ **株価が上がった場合**： 権利を行使し、安く株式を買って売却すれば利益が得られます。

- ・ **株価が下がった場合**： 権利を行使しなければよいだけで、損失は発生しません。

Q3. 権利を行使するベストなタイミングはいつですか？

取り決めはありませんが、一般的には株価が決められた価格を上回ったときが良いでしょう。株価が期待する価格まで上昇してから権利を行使・売却すれば、その差額が利益となります。

ストックオプション 権利行使で後悔しないためのQ&A

Q4. 売却してはいけないタイミングはありますか？

インサイダー取引になる可能性があるタイミングには注意が必要です。会社の「非公表情報」を持っている従業員が売却を行うと問題になる可能性があります。利益が出る株価であっても、情報の取り扱いには十分注意しましょう。

Q5. 利益はどのように計算されますか？

権利行使価格（買う権利の価格）と、売却時の株価の差が利益です。（例：1株50円で買う権利を持ち、株価100円の時に売れば50円の利益）

Q6. 権利行使をする際の注意点はありますか？

主に以下の3点に注意が必要です。

1. **権利行使期間内に行う**：行使期間を過ぎると権利を失います。
2. **退職時の失効**：一般的に退職後は行使できないと定められていることが多いです。
3. **タイムラグ**：行使と売却には時間差があり、その間に株価が変動するリスクがあります。

ストックオプション 権利行使で後悔しないためのQ&A

Q7. 具体的に「権利行使期間」はどのくらいですか？

会社によって異なりますが、税制適格ストック・オプションの要件（租税特別措置法）を参考にする場合、「付与決議の日後2年を経過した日から10年を経過する日まで」といった期間が定められています。必ず自社の行使条件を確認してください。

Q8. 権利行使から売却までの流れを教えてください。

1. 証券会社などに口座を開設する（税制適格の場合は専用口座）。
2. 会社に行使の意思を伝え、指定口座にお金を振り込む。
3. 証券会社などが株式購入の手続きをする。
4. 証券会社のサイトなどから売却を申し込む。

ストックオプション 権利行使で後悔しないためのQ&A

Q9. 税金の仕組みはどうなっていますか？

- ・**税制適格**：行使時は非課税です。売却時にまとめて課税（譲渡所得）されます。
- ・**税制非適格**：行使時（給与所得）と、売却時（譲渡所得）の2回税金がかかります。

Q10. 確定申告は必ず必要になりますか？

- ・**税制適格の場合**：原則、確定申告をして税金を納める必要があります。
- ・**税制非適格の場合**：購入した株式を証券会社の「特定口座」に入れば、原則として売却益に関する確定申告は不要になります。